

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	内線2612
平成18年度部名	保健福祉部	課名	地域医療課	課長名	近藤 敏男
平成19年度部名	福祉部	課名	地域医療課	課長名	川野 佐一郎
事務事業名	休日夜間急患調剤事業				
予算上の事務事業名	休日夜間急患調剤事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				
施策名	第2施策 救急医療体制の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	休日夜間急患調剤薬局運営費補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
休日(日曜・祝祭日・年末年始)及び夜間における急病患者(休日歯科の患者も含む)に対する調剤・投薬の確保を図るため、相模原メディカル調剤薬局及び相模原南メディカル調剤薬局で行う急患調剤事業に対し助成する。				市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
補助金交付先：(社)相模原市薬剤師会 事業内容：休日及び毎夜間における急患調剤薬局の確保。 開設時間：休日 午前9時～午後5時 71日 夜間 午後8時～午後11時(休日は午後5時～、平日は一箇所) 365日 開設場所：相模原メディカル調剤薬局 相模原南メディカル調剤薬局 補助金額：46,632千円 31,522千円 スタッフ配置：薬剤師(休日1～4人、夜間1～3人)・事務員(休日1～3人、夜間1～3人)*繁忙期増員あり 薬剤師(休日2～4人、夜間1～2人)・事務員(休日1～3人、夜間1～3人)*繁忙期増員あり					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
休日急病医科診療事業					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	80,661	78,617	78,154	74,394	74,394
一般財源	80,661	78,617	78,154	74,394	74,394
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,614	1,610	1,610	1,610	1,610
事業コスト合計	82,275	80,227	79,764	76,004	76,004
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	休日夜間急患調剤事業			対象名称 と単位	市民(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	82,275	80,227	79,764	76,004	76,004
対象数	620,653	624,121	628,864	669,955	674,000
単位あたり経費(円)	133	129	127	113	113
前年度比		0.97	0.99	0.89	0.99

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開設率（％）	指標式と指標の説明		開設日 / 開設予定日 × 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	365.0	365.0	365.0		
目標	365.0	365.0	365.0	366.0	365.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	処方箋枚数（枚）	指標式と指標の説明		休日及び夜間の処方箋枚数の合計	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	37194.0	37892.0	38447.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		休日及び夜間における医療体制の確保を図ることは、市民にとって大変重要なことであり、急病患者への薬の処方にも必要であることから、今後も調剤薬局事業の維持・確保に努める必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
			適正な人員配置（インフルエンザの流行期など患者数の多い繁忙時期）を更に図っていく必要がある。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			